

船舶インシデント調査報告書

平成29年9月21日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

インシデント種類	運航不能（機関故障）
発生日時	平成28年9月18日 15時10分ごろ
発生場所	北海道石狩湾港 石狩湾港北防波堤北灯台から真方位184° 1.6海里付近 (概位 北緯43° 12.1′ 東経141° 17.2′)
インシデントの概要	水上オートバイ ^{ヒトヨクキゴ} HITOYUKIGOは、遊走中、エンジンが停止して運航不能となった。
インシデント調査の経過	平成28年10月14日、主管調査官（函館事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	水上オートバイ HITOYUKIGO、5トン未満（長さ2.70m）
船舶番号、船舶所有者等	200-34181北海道、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、特殊
負傷者	なし
損傷	なし
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風力 2 海象：海上 平穏
インシデントの経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、同乗者1人を乗せて遊走中、平成28年9月18日15時10分ごろエンジンが停止した。</p> <p>船長は、エンジンの始動を試みたものの始動することができなかったので、航行不能と判断し、付近で釣りをしていた船舶に118番への通報を依頼した。</p> <p>本船は、来援した公益社団法人日本水難救済会石狩救難所の所属船にえい航されて発航場所に戻り、エンジンを点検した結果、冷却海水取入口からごみを吸い込んで冷却海水系統が閉塞し、冷却海水量が不足してエンジンがオーバーヒートしたことが判明した。</p>
分析	本船は、石狩湾港において、遊走中、冷却海水取入口からごみを吸い込んで冷却海水系統が閉塞したことから、冷却海水量が不足してエンジンがオーバーヒートし、運航不能となったものと考えられる。
原因	本インシデントは、本船が、石狩湾港において、遊走中、冷却海水取入口からごみを吸い込んで冷却海水系統が閉塞したため、冷却海水量が不足してエンジンがオーバーヒートしたことにより発生したものと考えられる。